

2026年度推薦入学試験S

各科目の出題の意図

英 語

(国際教養学科・英語英文学科)

標準的な文法・語彙・語法の知識を駆使して、長文を読み解く力を問います。長文読解問題Ⅰでは、空所に適する語を選択することで、文法・語彙・語法の知識をもとに、本文の内容をつかむ力を問います。長文読解問題Ⅱでは、内容一致文や同意語句を選択することで、本文を正確に、かつ効率よく読み解く力を問います。

(上記以外の学科)

長文読解問題で、空所に適する語を選択することで、文法・語彙・語法の知識をもとに、本文の内容をつかむ力を問います。

国 語

語彙力・基礎的な知識事項と文章読解力を問うことで、国語に関する力を総合的に評価することをねらいとします。大問一では、漢字・語句・慣用表現など、文章読解の土台となる語彙力を評価します。大問二の論理的文章では、筆者の主張・論拠・論理展開を本文に基づいて読み取ることができるか、論理的思考力を評価します。大問三(・四)は受験する学科により選択する問題が異なります。古文の場合、古典文法・語彙・古典常識を踏まえつつ、登場人物の心情や行動、物語の主題を正確に読み取る力を評価します。現代文の場合、大問二より短めの文章を二題出題し、さまざまなジャンルについて短時間で正確に読み取り、論理構成や要点を把握する力を評価します。

数 学

数学Ⅰ・A(「数学と人間の活動」は除く)の範囲からの出題で、3大問で構成されています。基本的な知識力・理解力を中心に出題しています。第1問は小問集合となっており、数学Ⅰ・Aからまんべんなく出題しています。各分野の基本的な知識・理解と基礎的な計算力を問います。第2問、第3問は誘導形式の大問となっています。第2問は図形の分野に関する問題、第3問は2次関数を出題しています。いずれも、必要な定理・公式を利用できる力や、前半で求めた答えをヒントにして後半の設問を解く力を問います。

化 学

化学基礎および化学(高分子を除く)の範囲から、基本的内容を中心に小問集合形式で問います。基礎用語、公式の活用、物質の名称や性質などの理解を幅広く問います。設問数は25問程度で、選択肢4～6個から選ぶ方式です。

生 物

生物基礎・生物で学習する基本的な知識事項や生物学的事象の原理・しくみの理解に加え、提示された情報をもとに定量的に推定したり、論理的に判断したりする力を、総合的に評価します。25 設問の小問集合形式で生物基礎・生物の履修内容を網羅的に扱い、知識事項の正確かつ体系的な理解や、生物学的事象に関するしくみや流れの正しい理解を求めます。また、知識事項を活用して判断する力を評価します。数値・図表・実験条件などの情報から論理的に思考する力や計算力を評価します。